

日本バイオセーフティ学会

学会からのお知らせ 2008 No. 1

平成 20 年 3 月 6 日
学会事務局

第 8 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

2008 年度、第 8 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会を平成 20 年 12 月 11, 12 日(木、金)に山西弘一学会長(医薬基盤研究所)のもと、大阪にて開催いたします。日本バイオセーフティ学会として取り組むテーマ毎にセッションを設け、講演会を行なう予定です。また、会員からの演題募集による研究発表を行ないます。ふるってご応募ください。

募集演題分類項目:

1. 安全管理全般 (安全管理運営、教育・研修、病原体輸送、感染性廃棄物他)
2. 病院・検査室バイオセーフティ
3. 動物バイオセーフティ
4. 安全装置、器具(安全キャビネット他)
5. 施設設計(実験室、病院検査室他)
6. 消毒・滅菌全般
7. その他

演題募集の締め切りは平成 20 年 8 月 31 日です。多数の会員の参加をお願いいたします。演題申込み書類は学会 HP からダウンロードしてください。

<http://www.nih.go.jp/niid/meetings/jbsa/index.html>

理事会報告

日時: 平成 20 年 1 月 7 日(月)15:00-16:30

場所: 感染研 共用第 3 会議室

議題:

1. 理事長選出
2. 新旧理事業務引継ぎ、割り振り
3. 第 7 回学会総会・学術集会収支概算報告
4. 第 8 回学会総会・学術集会について
5. 第 9 回学会総会・学術集会会長について
6. その他
 - 1) ロゴ
 - 2) 第 4 回シンポジウム
 - 3) 監事(1 名欠員のまま)
 - 4) その他

議事要旨

1. 理事長選出
山西弘一理事が全会一致で 2008-2009 年度理事長に選出された。新理事長から、退任した倉田、小松、岩本及び杉山の各前理事が理事会にオブザーバーとして参加するように提案があり、了承された。理事長より川又監事の再任依頼があり受諾された。
2. 新理事会の業務分担について以下のようにした。
統括: 理事長

総会・学術集会: 全員

庶務: 渡邊

会計: 北林

選挙管理: 篠原・渡邊

(事務局: 杉山)

3. 第 7 回学会総会・学術集会収支概算報告
小松第 7 回会長欠席のため杉山から収支概算報告があった。
4. 第 8 回学会総会・学術集会について
山西理事長が会長となり、20 年 12 月 11, 12 日(木・金)、大阪、千里ライフサイエンスセンターにて開催予定との報告があった。理事長から 1 月 16 日(水)、理事会と第 8 回学会総会・学術集会事務局メンバーを交えた合同会議開催についての提案があり了承された。
5. 第 9 回学会総会・学術集会会長について
賀来理事が 21 年 11 月頃に仙台で開催することが了承された。
6. その他
 - 1) ロゴ
継続して検討していく。
 - 2) 第 4 回シンポジウム
継続して検討していく。
 - 3) 監事(1 名欠員のまま)
特に決めなかった。

理事会報告

日時: 平成 20 年 1 月 16 日(水)17:30-19:00

場所: 感染研 共用第 2 議室

議題:

1. 第 7 回学会総会・学術集会収支報告
2. 2007 年度学会収支報告
3. 学会ロゴ
4. 第 8 回学会総会・学術集会について
5. 各国ガイドライン等の調査に関するワーキンググループ
6. その他

議事要旨

1. 第 7 回学会総会・学術集会収支報告及び 2007 年度学会収支報告があり了承された。
2. 学会ロゴ
ウイルス学会、ワクチン学会等のロゴを参考にさらに案を作成する。ロゴの案を提供してくれた会員と打合せを行うこととなった。
3. 第 8 回学会総会・学術集会について
第 8 回学会集会事務局の責任者である、医薬基盤研の森康子氏に参加していただき拡大理事会として、集会についての打合せを行った。

- 1) プログラム委員会を立ち上げる。
- 2) 会場は千里ライフサイエンスセンターで 500 人収容できるライブホールほか 1 室をすでに予約してある。2 日目に一応、もう 1 室、集会場を仮予約することとした。今回も展示を行うこととなり、北林理事が調整を行うことになった。
- 3) 教育講演、連携施策倉根班(BSL4 施設)を軸としたバイオセーフティシンポジウム(日本人演者)を開催する。病院バイオセーフティのセッション等を企画する。
- 4) 一般演題の募集は学会事務局から行う。締め切りを 8 月末とする。
- 5) 抄録に広告を出すこととする。
- 6) 協賛者を募ることとする。
- 7) 集会に関する収支は、学会全体の収支の中で行う。
4. 各国ガイドライン等の調査に関するワーキンググループ
本ワーキンググループの担当理事を篠原理事とする前回の理事会承認が確認された。今後、メンバー、作業内容等について検討していく。

学会費納入

2008 年度(1 月 - 12 月)の年会費 5,000 円(正会員)、30,000 円(賛助会員)をご納入くださいますようお願いいたします。納入に際しましては同封の「払込取扱票」にてご納入ください。なお、入会金 1,000 円、2007 年度までの正会員年会費 5,000 円及び賛助会員年会費 30,000 円を未だ納入していただいてない会員の方はご納入くださいますようお願いいたします。

学会開催案内

第 8 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

学会長：山西弘一 会長(医薬基盤研究所)

会 期：平成 20 年 12 月 11, 12 日(木、金)

会 場：大阪千里ライフサイエンスセンター

第 3 回アジアパシフィックバイオセーフティ(A-PBA)学会
年次会議

“Biosafety Issues in Emerging and Re-emerging Diseases”

会 期：2008 年 3 月 27, 28 日

(25, 26 日はプレコンファレンス)

場 所：バンコク

<http://www.a-pba.org>

第 11 回ヨーロッパバイオセーフティ(EBSA)学会年次会議

会 期：2007 年 4 月 2-4 日

場 所：フィレンツェ、イタリア

<http://www.ebsa.be/>

第 51 回アメリカバイオセーフティ(ABSA)学会年次会議

会 期：2008 年 10 月 9-22 日

場 所：John Ascuaga's Nugget、レノ、ネバダ

新規会員紹介

正会員

岩城 正昭 国立感染症研究所

東京都武蔵村山市学園 4-7-1

亀井 範雄 家田貿易株式会社

東京都文京区本郷 3-4-16

甲野 英治 家田貿易株式会社

東京都文京区本郷 3-4-16

逆瀬川 三有世 大幸薬品株式会社

大阪府吹田市市内本町 3-34-14

坂本 栄 キッセイ薬品工業株式会社

長野県安曇野市穂高高原 4365-1

柴田 高 大幸薬品株式会社

大阪府吹田市市内本町 3-34-14

白井 正孝 バイオメディカルサイエンス研究会

埼玉県さいたま市中央区鈴谷 4-9-24-1004

三浦 孝典 大幸薬品株式会社

大阪府吹田市市内本町 3-34-14

賛助会員

日本エアータック株式会社 (担当者:川又亨)

東京都台東区入谷 1-14-9

学会事務局：国立感染症研究所バイオセーフティ管理室内
杉山 和良

〒162-8640 新宿区戸山 1 丁目 23 番地 1 号

TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1184

E-mail ksugi@nih.go.jp

www.nih.go.jp/niid/meetings/jbsa/gakkaiannai.html